



【校訓】 自主・友愛・健康

【めざす学校像】

- 児童・生徒が安心・安全に学べる学校
- 組織として対応できる学校
- 児童・生徒・保護者・地域・行政と連携協力し地域と共にある学校

【めざす児童・生徒像】

- みんなのために自ら考え行動できる生徒
- みんなで協力し、互いを高め合えることができる児童・生徒
- 自分の意見を進んで発言できる児童・生徒

【めざす教職員像】

- 自己研鑽に努め、互いに高めあえる教職員
- 人権教育を基盤とし、生徒に寄り添い、適切な指導を行うことができる教職員
- 児童・生徒・地域・保護者から信頼される教職員

【育成をめざす資質・能力】

- 自分の思いや考えを伝え合い学び合い未来を切り拓く力（知）
- 自他を大切にし、感謝と思いやりの心（徳）
- 生涯を通じて健康体力づくりに励むことができる力（体）

【生徒の実態】

- 明るく素直で、学校行事等に積極的に活動する生徒が多い。
- 発言力に個人差がみられるが、学び合い活動等は好きな生徒が多い。
- 学力の二極化が見られ、基礎的・基本的事項の習得に課題がある。
- SNS等の情報モラル面で課題がみられる。

【保護者・地域の実態】

- 学校の教育活動への理解があり、たいへん協力的である。
- 地域全体で子どもを見て、見守る雰囲気がある。



協働力と発信力の育成

【経営の基本方針】

- ①自ら主体的に学び、確かな学力を身につけた生徒を育成するため、共通実践を決め、取組の検証を繰り返しながら組織的に授業改善に取り組む。
- ②学校教育の根幹に人権教育を据え、一人にこだわり、一人一人の生徒の「心の居場所づくり」を行いながら、多様性を尊重し、思いやりのある心豊かで良好な人間関係の構築に努める。
- ③それぞれの心身の発達状況に応じ、心身ともに健康な体力を備えた生徒の育成に努める。
- ④地域とともにある学校づくりを推進するため、学校運営協議会と連携を図り、学校の公開と保護者、地域の協力体制を確立する。
- ⑤感染症対策の共通理解と共通実践を図り、生徒にとって安心安全な環境づくりを推進する。
- ⑥組織的な対応の場面を増やし、働き方改革の充実を図り、職員の心身の健康を増進することで、教育に対する意欲を高め、教員としての専門性を高める。

【重点努力事項（知）】

- 「熊本の学び」の推進
 - ・基礎的・基本的事項の確実な習得
 - ・学習過程の工夫
 - ・英語・日本語教育の充実
- 読書活動の推進

【重点努力事項（徳）】

- 人権教育、道徳教育の充実
- 心の居場所づくりの推進
- 生徒会活動の活性化

【重点努力事項（体）】

- 基本的生活習慣の充実
- 体力づくりの推進
- 健康教育の充実と保健・給食管理の徹底
- 安全教育及び安全管理の充実

【めざすゴール】

◎R7学校教育目標

「ふるさと天水町に誇りを持ち、たくましく生き抜く児童・生徒」

◎R7生徒会スローガン

「突破
～みんなの可能性を信じて～」

※生徒会3本柱

- ①みんなの意見を進んで発言できる生徒
- ②みんなのために自ら考え行動できる生徒
- ③自分で協力し互いを高め合うことのできる生徒の意見を進んで発言できる生徒